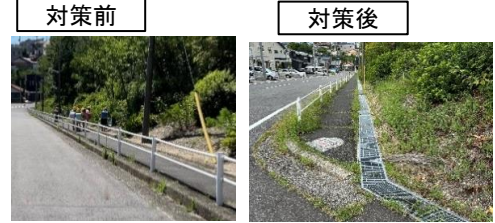


# 通学路対策箇所図(イメージ)

- 【対策検討メンバー】
- ・教育委員会、学校
  - ・道路管理者
  - ・建設課
  - ・生活安全課
  - ・警察署

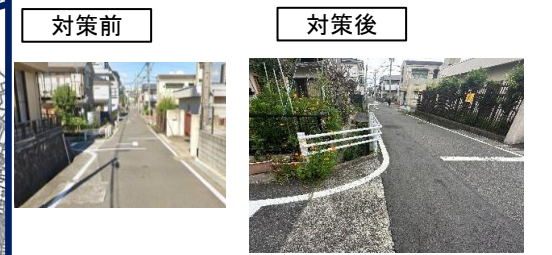
● : 要対策箇所

【4-2】歩道の側溝に蓋がないため落下の恐れがあり危険である。



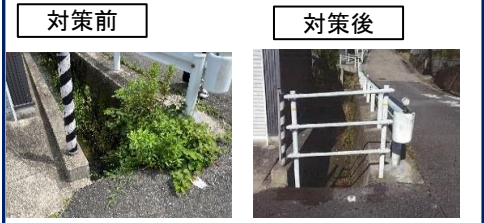
＜対策メニュー＞  
・側溝蓋の設置

【30-1】ふたが無く、側溝がむき出しの状態になっており危険である。

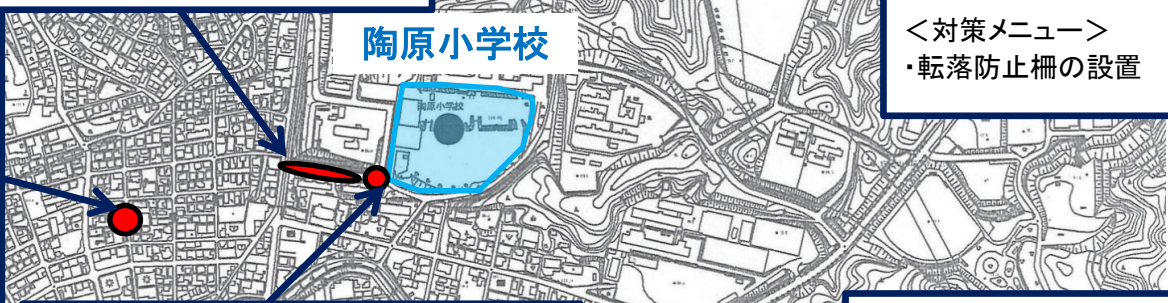


＜対策メニュー＞  
・転落防止柵の設置

【3-1】ガードレールがなく、落下する恐れがあり危険である。



＜対策メニュー＞  
・防護柵の設置



【31-2】児童が曲がり角を横断し、学校の敷地内に入るため危険である。



＜対策メニュー＞  
・看板の設置

【4-3】交通量が多く、横断歩道開口部が広く危険である。



＜対策メニュー＞  
・横断歩道開口部にポラード設置